



第369号

2017年 6月

〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報委員会
 「教区ニュース」編集部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

6月25日(日)
聖ペトロ使徒座への献金
 教皇は毎年、世界各地を訪問し、人々の苦しみや悩みを聞き、優しい笑顔で力づけ、数々の援助を与えます。聖ペトロ使徒座への献金は、教皇のこうした活動のために充てられます。

7月1日(土)
福者ペトロ岐部司祭と187殉教者(記)

教区ホームページ

福音のひびき
6月の説教者

4日	聖霊降臨の主日 平澤 忠雄 (守山教会)
11日	三位一体の主日 チブリアノ・ボンタッキョ (金沢教会・七尾教会)
18日	キリストの聖体 長谷川 潤 (富山地区)
25日	年間第12主日 ビジュ・キシヤケール (長浦教会)

共感から湧き出た祈り



WYDクラクフ大会 振り返る



青年委員会主催WYD in名古屋が3月25(26)日、聖霊ミッシヨセンター(旧聖霊幼稚園)を会場として行われた。「和、話、輪、クラクフ、フリカエル」というテーマで、20人を超える青年が参加した。

昨年7月にポーランド・クラクフで行われたワールドユースデー(WYD)の映像を流しながらのオープニングプログラム、クラクフ大会参加者の分ち合いもあつて現地の熱を感じた。

夜の祈りの時間には、「クラクフ(苦業)・フリカエル(振り返る)」とのテーマのように、それぞれが今までの歩みの中で一番つらかった時期の体験を聞き合い、それを隣りの人が祈りにして神にささげた。相手の苦しみを知り、共感したところから湧き出た祈りによってあたたかい雰囲気になりました。

二日目は十字架の道行を行った。いつもとは違う形の十字架と歌によって、素敵な朝の時間を過ご

YD)の映像を流しながらのオープニングプログラムの生徒さんに手紙を書いたり、松浦司教様のQ&Aコーナーなどで盛り上がり、最後は司教様主司式でミサをささげ、テーマソング「AIGIFT」をひとつになつて歌い、再びそれぞれの場に派遣された。

富山からの参加者もあり、今まで以上につながりの輪が広がった。これからもっとAIGIFTの輪、交わりが広がってほしいと願っている。

(AIGIFTとは名古屋教区のこと。A=愛知、G=岐阜、I=石川、F=福井、T=富山)
 (布池教会 岩崎ミサ)



五反城教会、 献堂50周年

五反城教会は献堂50年の記念を復活の主日のミサと合わせて4月16日に祝った。ミサは松浦博郎司教の司式によって、新立大輔主任司祭と共に

五反城教会は1962年4月に岩塚教会として発足し、67年5月5日に現在の大聖堂が使徒聖ヨハネ教会堂として献堂された。新しい典礼の発想によって神言修道会のごとくトナイク神父によって設計されたという。

松浦司教はミサの説教の中で、キリストの復活の信仰についてヘレンケラーの話を例にあげて話した。

「イエスの弟子たちはイエスが生きている間、たくさんのお話を聞き、た



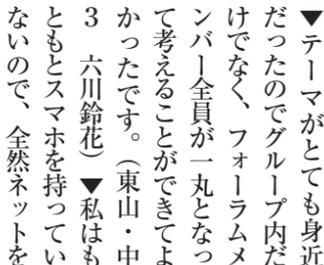
くさんの奇跡を見た。けれども実はよく分かっていなかった。しかし復活したイエスと出会ったとき、そうだったのか、あの時、イエスが言っていたことはこういうことだったのかと、すべてを理解した」

「ヘレンケラーの映画の、あの有名なシーンを思い出してほしい。ヘレンケラーがいたずらをしてたとき、サリバン先生は彼女を井戸に引張つていき、水をかけながら『水』と指文字で教えた。それまで何一つ分からなかった指文字が言葉を表しているということ、そのとき突然、ヘレンケラーは理解した。サリバン先生が教えてくれた。たすべつてのことが、たつた一つのことがかつたときにすべてを理解した」

「イエスは死に打ち勝つた。だから勇気を持って、この世にはまだ苦しみがいっぱいあるけれど、信頼と勇気を持ってこの復活のイエスと共に歩んでいってほしい」と信徒に呼びかけた。

ミサ後には祝賀パーティが新築されてまだ2年の信徒会館ホールで開かれた。すでに南山教会への異動が決まっていた新立神父の送別会も兼ねており、お別れの曲が教会学校の子供たちや信徒たちによって歌われた。松浦司教も飛び入りでバンド演奏に加わり、ベースギターを披露した。最後には全員で手をつないで「アーメンハレルヤ」を歌唱した。

(五反城教会 小野 浩)



脱スマホにチャレンジ

中高生会春のフォーラムが教区センターを会場に、3月27-29日の2泊3日で行われた。今年も、携帯電話・ゲーム・インターネットの依存について取り組んだ。

内閣府の発表によれば、高校生の携帯電話(スマートフォン含む)を持つている子供たちの割合は96%を超えている。便利な一方、半数以上の子どもたちの使用時間が2時間を超えているというデータもある。こうした依存状態に苦しんでいる子どもが少なくないという。

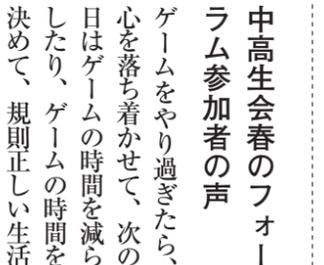
そういった子どもたちへの支援を行っている愛知総合H.E.A.R.センターで臨床心理士・学校心理士として活躍する小瀬木尚美さん(布池教会信徒)から、現実の子どもの様子や依存に陥る背景などの話を聞き、学ぶことができた。

参加者たちは三日間、携帯電話やゲームを使わずに過ごしたが、不自由なく、出会った仲間たちとの交わりを大切に過ごしていた。

(青少年司牧部 片岡義博神父)

使われないし、全く依存にもなっていない。しかし、友達とかはほとんどスマホを持っていて、一緒に電車に乗るとすぐにスマホのゲームをしたり音楽を聴いたりしていたので、少し寂しい思いをしていました。(守山・中3 加藤椰子) ▼座禅体験では座禅は忍耐力をつけるものだと思うので、座禅に慣れていけたけれど、座禅には様々な種類があることを知りました。今回のフォーラムはすごく楽しかったです。(岡崎・高1 坂井優太) ▼カウンセリングの人も言うように、スマホ依存の人たちのそばにいたり、話を聞いたりできるような頑張りたいと思うています。(高蔵寺・高1 森憲治) ▼3日間、スマホやゲームから強制的に離れた生活をして、今まで話せなかった友達と話すことができた。2時間を超えているというデータもあって、こうして依存状態に苦しんでいる子どもが少なくないという。そういった子どもたちへの支援を行っている愛知総合H.E.A.R.センターで臨床心理士・学校心理士として活躍する小瀬木尚美さん(布池教会信徒)から、現実の子どもの様子や依存に陥る背景などの話を聞き、学ぶことができた。

使われないし、全く依存にもなっていない。しかし、友達とかはほとんどスマホを持っていて、一緒に電車に乗るとすぐにスマホのゲームをしたり音楽を聴いたりしていたので、少し寂しい思いをしていました。(守山・中3 加藤椰子) ▼座禅体験では座禅は忍耐力をつけるものだと思うので、座禅に慣れていけたけれど、座禅には様々な種類があることを知りました。今回のフォーラムはすごく楽しかったです。(岡崎・高1 坂井優太) ▼カウンセリングの人も言うように、スマホ依存の人たちのそばにいたり、話を聞いたりできるような頑張りたいと思うています。(高蔵寺・高1 森憲治) ▼3日間、スマホやゲームから強制的に離れた生活をして、今まで話せなかった友達と話すことができた。



中高生会春のフォーラム参加者の声

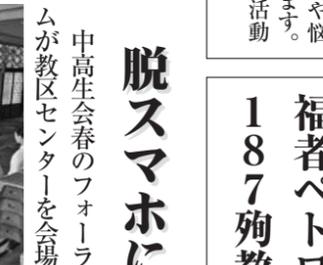
ゲームをやり過ぎたら、心を落ち着かせて、次の日はゲームの時間を減らしたり、ゲームの時間を決めて、規則正しい生活をしようと思いました。(東山・中1 西村一良)

▼ネット依存のおそろしさなどを教えてもらい、インターネットを使うのが怖くなりました。インターネットもスマホも、使い方を間違えなければ安心して使えるということも分かりました。(東山・中1 六川なずな)

▼テーマがとても身近だったのでグループ内だけでなく、フォーラムメンバー全員が一丸となつて考えることができてよかったです。(東山・中3 六川鈴花) ▼私はもともとスマホを持っていないので、全然ネットを



使われないし、全く依存にもなっていない。しかし、友達とかはほとんどスマホを持っていて、一緒に電車に乗るとすぐにスマホのゲームをしたり音楽を聴いたりしていたので、少し寂しい思いをしていました。(守山・中3 加藤椰子) ▼座禅体験では座禅は忍耐力をつけるものだと思うので、座禅に慣れていけたけれど、座禅には様々な種類があることを知りました。今回のフォーラムはすごく楽しかったです。(岡崎・高1 坂井優太) ▼カウンセリングの人も言うように、スマホ依存の人たちのそばにいたり、話を聞いたりできるような頑張りたいと思うています。(高蔵寺・高1 森憲治) ▼3日間、スマホやゲームから強制的に離れた生活をして、今まで話せなかった友達と話すことができた。

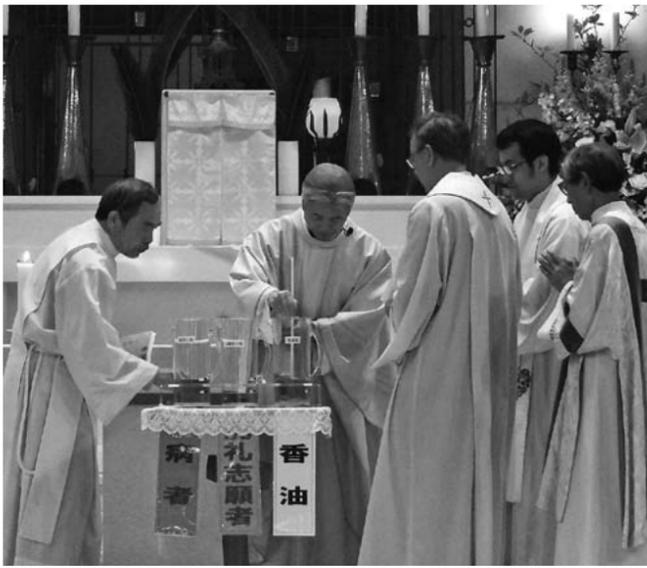


使われないし、全く依存にもなっていない。しかし、友達とかはほとんどスマホを持っていて、一緒に電車に乗るとすぐにスマホのゲームをしたり音楽を聴いたりしていたので、少し寂しい思いをしていました。(守山・中3 加藤椰子) ▼座禅体験では座禅は忍耐力をつけるものだと思うので、座禅に慣れていけたけれど、座禅には様々な種類があることを知りました。今回のフォーラムはすごく楽しかったです。(岡崎・高1 坂井優太) ▼カウンセリングの人も言うように、スマホ依存の人たちのそばにいたり、話を聞いたりできるような頑張りたいと思うています。(高蔵寺・高1 森憲治) ▼3日間、スマホやゲームから強制的に離れた生活をして、今まで話せなかった友達と話すことができた。

祭司職の決意新たに 宣教の使命果たそう

聖香油ミサ

「司教が司教区内の各地域から集まった司祭とともに共同司式して、香油の聖別とその他の油の祝福を行う」聖香油のミサが4月12日、布池教会司教、野村純一名譽司教



で行われた。従来、聖週間の木曜日に行われてきたが、遠隔地の教会の司祭に配慮して今年の水曜日に行われた。松浦悟郎司教、野村純一名譽司教

とともに、69人の司祭が共同司式をした。松浦司教は説教でまず、司祭たちに叙階の秘跡を受けた時のことを思い起こすよう促した。

「祭壇の前に倒れ伏し、諸聖人の連願が唱えられている間、弱い人間にもかわからず一人の司祭の叙階を皆が祈っていると感じて私たちは、神にすべてをささげて生きよう」と決心しました。もう一度その思いを新たにしたい

また、「私たちは次第に年を重ねて老いていきます」と述べて司教は、フランススコ教皇の言葉を紹介した。「地上の滅びゆく器の中に、朽ちることのない宝を持っている。十字架の喜びという

宝である。私たちは年齢を重ねるうちに、秘跡を通してそのことを表すことができます」。

そして司教は祈った。「私たちが弱さのうちにも神の素晴らしい命をお返しする者となりませよ。至らない私たちの姿を通して、人々に神の恵みが開かれますように」

さらに信徒に向かつて、「皆さんに与えられた祭司職は、世の人々に神の救いをもたらしていくために油注がれた祭司職です。その決意を新たにしたい」と、信徒としての宣教の使命を果たすよう呼びかけ



祝・神言神学院

聖堂献堂50周年

—これからも喜びを持って使命を生きる—

神言神学院 聖堂献堂50周年と神言修道会誓願・叙階者の金銀祝40・60・65周年の記念ミサが5月3日、松浦悟郎司教司式によって神言神学院で行われた。

松浦司教はあいさつで「神言修道会誓願40・60・65周年を迎えた神父様

神言神学院 方が、喜びを持って使命を生きることができまますように、このミサの中で祈っていきましょう」と呼びかけ、ミサが始まった。

司教は説教で、50年前に献堂式でこの建物を祭壇聖別したことに触れ、「聖別する」という意味を、最終的には「神様から託された使命のために分けられる」と説いた。そして、「この聖堂で、皆さんの神学生たちが、学び、祈り、悩みながらその道を選んできたことでしょうか。この聖堂で、喜びを持って使命を生きる」

また、二日前、一人の司祭の葬儀がこで行われたことをあげ、「その使命を終えて神様のもとに帰る、それもこの聖堂で行われていた」と続けた。

司教は教会の始まりと聖母マリアの生涯に言及し、「言ってみれば、この聖堂はマリアかなと思われ、最後の、一日の終わりに、この聖堂で聖母マリアの賛歌を歌うことの意味についても語った。

当日の福音について司教は「大変嬉しいイエスの姿、怒っているイエスの姿、誓願をたてた修道士たちが、それぞれ託された神様の呼びかけに祈りを捧げたことでしょうか」と共感を示した。

修女連總會

役員任期分担と 講演会話し合う



退任のあいさつをする Sr. 福井

た。11修道会から26人の参加があった。16年度の活動報告、会計報告、17年度の活動予定案、会計予算案の報告が行われた後、検討事項2点が提示された。

1点は、修女連の役員任期分担について。19年度より11修道院(10修道会)が4修道院ずつ1グループを作り、任期はこれまでと同じく2年で行うこととなった。

2点目は、例年2月11日に開催していた修女連主催講演会を継続するかどうかを話し合った。この日は修道会内外の行事と重なることも多いが、修道会在俗会間の交流のためにも集まりの機会を継続していきたいとの意見もあり、今後どのような形でできるのか、役員会に委任することになった。



つづいて松浦悟郎司教による講演があった。内容は、司教書の三つの

基本方針と六つの具体的目標の進捗状況についての話だった。①教区事務局体制について、②北陸ブロックへの教区司祭派遣について、③教区宣教司牧評議会について、④信徒使徒協賛会について、⑤社会福音化推進部、青少年部の設立と外国人司牧者会議について、⑥司祭の集いについてなど、わかりやすく説明していただいた。いつもながらその宣教の熱意、喜びが全身から感じられ、わたしたちも鼓舞された。

18年11月には正義と平和全国集会が名古屋で開催されること。これをきっかけによりいっそう教会の扉が開かれていくことであろう。

(修女連 Sr.村田)

信徒協賛員総会

「信徒の使徒職とは何か？」



活動報告を話す滑川正雄会長

教区信徒使徒協賛員総会が4月30日、布池文化センター・コンコルディアホールで開催された。役員と小教区委員の70余人が集った。

活動報告、決算報告にあたって振り返れば、昨年度は、これまで教区の活動を中心的に担ってきた信徒協が、宣司評を唯一の教区最高決議機関と

する教区ビジョンに矛盾することなく、その役割と使命を果たしていくには、どんな活動がふさわしいか、どう変わったら良いのかを、通常の行事を実施しながら議論を重ねた1年間だった。

新年度活動計画と予算については、従来の活動を根本から見直し、現代社会に遣わされた信徒の使徒職とは何かを求めて話し合い、その上で暫時、可能な活動を開始していくことと了承された。

さらに、「お米の一握り運動」を継続するか、実施方法を見直すかの決定を早めに知らせること、信徒協会則の必要な改正は、現在進行中の宣司評会則改正を見ながら行うことを確認した。また、若者にも呼びかけ、小さくて動きやすい規模、分かりやすい信徒協にすることなどが提案された。

松浦悟郎司教と信徒協担当司祭・森山勝文神父との共同司式による派遣のミサで終了した。

なお、献金約3万5千円は福信館に届けられた。

4月23日に2017年度名古屋教区女子修道会・在俗会連盟(修女連)の総会・講演会が名古屋教区センターで開催され

新しい年、分裂の世界に一致を!

新しい年、分裂の世界に一致を!

新しい年、分裂の世界に一致を!

新しい年、分裂の世界に一致を!

東海「ピース9の会」の集い

分かち合い励まし合い

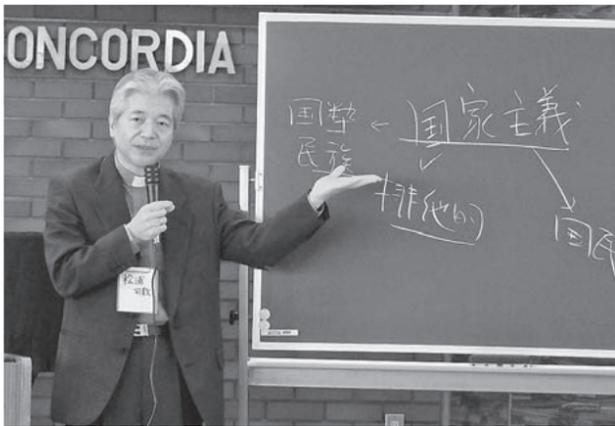
「すべての人の平和を願う、戦争をしない、軍隊を持たない、この憲法9条を世界の宝に」をスローガンとする「ピース9の会」が5月3日、松浦司教の呼びかけで発足して15年を迎えた。これを記念して、東海「ピース9の会」の集いが布池外語専門学校コンコルディアホールで開催され、高校生を含む60人が参加した。



松浦司教の講話を聞いた後、6、7人のテーブルごとに分かち合いを行った。分かち合いの中から、これからどうするかについて、全体会で発表した。◆教会や地域でこのよくな分かち合いをする◆DVDなどを見て学ぶ◆松浦司教の話を見て一般の人が聴く機会を作る◆若い人に戦争体験を伝える◆

【松浦司教の講話要旨】

世界も日本も歴史の分岐点からさらに悪い方向へと入った。ここで踏み留まらなければならぬ。個人よりも国家が大事という国家主義が大手を振るいつつある。難民や外国人には排他的になり、他国とは争いを増し、軍事を強化する。憲法は国家を超えた価値に基づく。どこの国の人にも人権、尊厳があると示す。特に日本国憲法は前文で、圧迫からの解放と人間らしい生を目指す宣言する。世界中のすべての人の権利を守るから、軍事は使われないと明言する。



価値に基づくと、どこの国の人にも人権、尊厳があると示す。特に日本国憲法は前文で、圧迫からの解放と人間らしい生を目指す宣言する。世界中のすべての人の権利を守るから、軍事は使われないと明言する。ところが、自分の国さえ良ければいい、国民は国家に従えばいいというムードになってきた。まず言えることは、圧倒的な富への欲望に引きずられている。自分の国を守る、自由や平和のためと言いながら、戦争を利用して利益を得る人たちが存在し、彼らが戦争を仕掛けていている。

それは明らかとなった。情報をコントロールし、日本は損をしている、北朝鮮は危険だとおおる。国家による国民監視が進んでいても、市民は自分には関係ないと思っている。国家にとって一番困る人たちが、目覚めて本当のことを分かっている、おかしな声を出す人たちが、国家は弾圧する。さまざまな理由をつけて捕まえる。ほとんどの人は弾圧が行われていることに気づかない。沖縄にはもう民主的なものはない。盗聴、民意の無視、逮捕と長期拘留。すごい弾圧がある。沖縄の現場に行けば分かることが日本の問題になっていない。国家権力がどれほど恐ろしいか、憲法がいかに役に立っていないか。もう一つは、日本が犯した過ちに目を向けさせないようになっている。し

難民移住移動者委員会の船員司牧 (AOS) 名古屋で全国研修会

難民移住移動者委員会・船員司牧部門 (AOS) の全国研修会が名古屋で開催されます。今回、全国参加される従事者の皆様に同伴して、司牧を担当する名古屋港を巡回する予定です。参加希望者は早めに申し込みください。

船員司牧 (AOS) 名古屋港研修コース 期日 7月7日(金) 13:30 カトリック港教会集合 巡回地 ガーデン埠頭、金城埠頭、展望台、コンテナターミナル 懇親会 希望者のみ 17:30 港教会 問合せ カトリック港教会 山口正美、全国担当司祭 名古屋市港区錦町25-17 ☎052-389-1841 メール my451106@lilac.ocn.ne.jp 主催 名古屋難民移住移動者 名古屋ステラマリス (AOS)

ラビリンスメディテーションへのおさそい

このたび聖霊ミッションセンターではラビリンスメディテーションのプログラムを準備しました。日常を離れ、静かに祈り、分かち合いたい方、どなたでもご参加ください。前もって申し込み必要はありません。

Table with 3 columns: 日程, テーマ. Rows include dates from 7月8日 to 2月24日 and themes like 「わたしのもとにきなさい」.

時間 毎回13:30~16:30 場所 聖霊ミッションセンター (旧八事聖霊幼稚園) 名古屋市昭和区八事本町1 参加費 200円 問合せ ☎052-832-0434

名古屋教区平和旬間行事 平和学習シリーズ

さまざまな団体・個人のご協力により、日本カトリック平和旬間を前にして、名古屋教区内の平和・戦争関連施設や史跡を訪ね、学び、祈るための日帰りツアーが企画されました。ぜひ、みなさん、お問い合わせの上、ご参加ください。詳細は今後、各小教区に送られるポスター等をご覧ください。

Table with 3 columns: 学習地, 実施日, 集合場所・時間. Rows include locations like ピースあいち, 高浜原発, 杉原千畝記念館, 豊川海軍工廠跡.

(5月22日現在) 問合せ 社会福音化推進部事務局 ☎052-935-7180

2017年度名古屋教区 神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ

「移民・移住者の司牧について」(全4回)

- 第1回 6月24日(土) 「三河地区の移民・移住者の司牧について」 講演者: フリッツ神父 三河センター所長 (神言会司祭) アントニー神父 安城教会主任 (神言会司祭) 第2回 9月9日(土) 「信徒の立場・視点から」 講演者: 村上満一氏 (三河カトリックセンターボランティア 安城教会信徒) 第3回 11月25日(土) 「信徒の立場・視点から」 講演者: 森永デイン氏 (プロテスタント信徒) 第4回 2018年2月17日(土) 「これからの移民・移住者の司牧について」 講演者: 松浦司教 (名古屋教区司教)

時間 13:30~15:30 場所 カトリック教区センター2階 名古屋市東区葵町2丁目6-35 地下鉄東山線 新栄町駅2番出口 北東へ徒歩5分 問合せ カトリック安城教会主任司祭 アントニー神父 ☎0566-98-7766 八事聖霊修道院 ☎052-832-0434 (Sr. 武田) 主催 神言修道会・聖霊会 JPIC 委員会 名古屋教区正義と平和委員会

新刊案内 「ザビエルに続く宣教師たち 神父さま、なぜ日本に？」

1,296円 女子パウロ会発行

北海道から沖縄まで、日本各地に存在する修道会と宣教会。その会員として戦後もなく来日し宣教に従事してきた15人の宣教師が、なぜ遠い日本に来たのか、その思い、労苦と喜び、キリストを伝える幸せを語る。

フリードリッヒ・マンフレード神父(フランシスコ会) オスワルド・ミューラー神父(神言修道会) オリビエ・シェガレ神父(バリエ外国宣教会) ガエタノ・コンプリ神父(サレジオ会) アルフォンス・デーケン神父(イエズス会) ゴーニ・ベルナルド神父(カルメル会) ニコラス・スワイアテック神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会) アンドレ・カンペンハウド神父(横浜教区) パリー・ケンズ神父(コロバン会) マヌエル・シルゴ神父(イエズス会) グレアム・マクドナル神父(東京教区) 茨木留土神父(イエスの小さい兄弟会) シリル・スメット神父(淳心会) ファン・アギラル神父(イエズス会) アラン・ラサール神父(カプチン・フランシスコ修道会)



CD案内 Gifts 賜物

—TAMAMONO— 制作: ヨハネスミュージック 定価2,000円

懐かしの聖歌から現代の聖歌、オリジナル曲まで、幅広い内容となっています。「主を賛美することは大きな恵みをいただけることであり、音楽を通してイエス様のことを世に広めることは何と幸せなことだろうと思っていたことが、ようやく形となりました。多くの人々にぜひ聴いていただきたいと願っております」(製作者)

このCDは加藤佳乃(南山教会所属)さんが手がけたもので、2曲目は南山教会前主任司祭ボクダン神父のご協力により、ご本人にポーランド語で歌っていただき、日本語とのコラボになっています。お求めは下記まで。

名古屋聖パウロ書院 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-2 ☎052-936-4443 (担当: 高橋勝恵)

—あらゆる壁を越える教会をめざす中であ—

